

第15回 K. CATフォーラム

金沢に住む・働く・遊ぶ

～若者は金沢で暮らしたいか！～

□日時：2016年1月23日（土）13：00～17：00（12：30～受付開始） ※11時45分集合

□会場：ITビジネスプラザ武蔵 6F交流室1

□定員：50名程度（若手の方大歓迎！事前申込）

□主催：K. CAT（金沢の都市と交通を考える会）

□開催主旨：

金沢市人口ビジョン（平成27年10月）では、2060年の人口を43万2千人とすることを目指している。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、金沢市の2060年の人口を34万7千人と推計していることから、8万5千人増を目指していることになる。

はたしてこの人口ビジョンのように推移するだろうか。少子高齢化は、日本全体の問題であるが、金沢市においても生産年齢人口（15～64歳）の減少が課題といえる。

では、どのようなしたら生産年齢人口の減少を緩やかにすることが出来るだろうか。そのためには、まず若者に金沢で暮らしたいと思ってもらうことが求められる。

K. CATでは、住む、働く、遊ぶの3つの視点から、どうしたら若者が金沢で暮らしたいと思うかを市民や学生の皆さんとともに考えたい。

□プログラム

- 13：00 開会・挨拶・主旨説明（10分）
- 13：10 「金沢での暮らし」について説明（20分）
- 13：30 ワークショップ（1時間50分）
- 15：20 休憩
- 15：30 各グループ発表・投票（1時間20分）
- 16：50 コメント、総括
- 17：00 閉会

□説明者

- ・挨拶・主旨説明：高山純一氏（K. CAT代表、金沢大学教授）
- ・「金沢での暮らし」について説明：
 - 杉本 英大氏（K. CATメンバー、金沢市役所）
 - 笹谷 拓己氏（K. CATメンバー、金沢市役所）
 - 埴 正浩氏（K. CATメンバー、㈱日本海コンサルタント）
- ・司 会：萩原扶未子氏（K. CATメンバー、㈱ジー・アンド・エス 代表取締役社長）

□ワークショップのグループ分け（○印は、各グループの進行役）

- 住む：○坂本氏、○杉本氏、塩土氏、土倉氏、西村氏、大家氏
- 働く：新家氏、北原（豪）氏、笹谷氏、○鈴見氏、○竹村氏、森川氏
- 遊ぶ：○木谷氏、○北原（良）氏、北出氏、堀口氏、山道氏、埴氏

□ワークショップの進め方

【グループ分けについて】

- ・住むA・B、働くA・B、遊ぶA・Bの3分野×2グループ、各グループ8名程度。
- ・各グループには、参加者の希望を踏まえつつ、一般市民、学生、若手行政マン、若手コンサルタント、K. C A Tメンバーを配置する。
- ・K. C A Tメンバーは、各グループに2名ずつ参加し、進行役（モデレーター）を務める。

【ワークショップの進め方について】

- ・発表者、書記など、役割分担を決めて、K. C A Tメンバーが効率的に進行する。
- ・時間は、110分。とりまとめの時間を考えて進行する。
 - ①自己紹介
 - ②「金沢での暮らし」について、意見交換
 - ③ポストイットを活用して、各分野の現状・課題・対策等の意見を出し合う
 - ④K J法にて、ポストイットの意見を整理する
 - ⑤グループ内の意見をまとめ、A0サイズの模造紙（各グループ1枚）で表現する
 - ・A0サイズの模造紙は、各グループ2枚（1枚は予備）を配布する

【発表について】

- ・各グループ10分とし、発表7分、質疑応答3分程度とする。

【投票の方法について】

- ・発表した内容が一番良かったグループに、参加者1名・1票で投票する。但し、所属したグループ以外に投票することを原則とする。
- ・投票の仕方は、各グループの発表した模造紙に丸いシールを貼るものとする。
- ・最も評価の高かったグループには、高山先生からプレゼントを渡す。
 （例えば、評価の最も高いグループ全員（500円/人×8人＝4000円）、また、それ以外の参加者全員（100円×42人＝4200円）にも何か頂けると幸いです。）

【コメント・総括について】

- ・各グループの発表内容や参加者の投票結果を受けて、金澤所長からコメントをいただく。
- ・最後に、高山先生が総括。
- ・ワークショップの結果については、K. C A TのHP等で公表する。